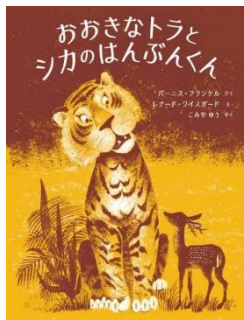


わくわく

2月号

本だな

1 2 3 年



E 『 おおきなトラとシカのはんぶんくん 』
 バーニス・フランケル／さく レナード・ワイスガード／え
 こみやゆう／やく 好学社

3とうのシカのきょうだいが、もりをたんけんしていると、大きなトラがおそってきました。にいさんたちは、トラにはかなわないとあきらめてしまいます。そのとき、すえっこの〈はんぶんくん〉が、「ぼくにかかってこい！」とさげんだのです。

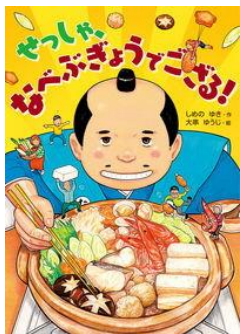
えほん

K913 『 からっぽになったキャンディのはこのおはなし 』

大久保雨咲／作 出口かずみ／絵 小峰書店

ぼくは、キャンディのはこ。プレゼントとして、そらくんの家^{いえ}にやってきました。でも、今はもうからっぽです。そらくんが^{いま}かっているねこにも、「つまらないあきばこ」といわれてしまいました。おちこんでいたぼくに、そらくんはきれいな貝^{かい}がらをいれてくれました。

ものがたり



K913 『 せっしや、なべぶぎょうでござる！ 』
 しめのゆき／作 大串ゆうじ／絵 ポプラ社

ヒロは、好きなたべものがバラバラなかぞくのために、なべをつくらうとしますが、うまくいきません。そんなヒロのまえに、さむらいのかっこうをしたなべのようせいがあらわれました。ようせいは、みんながよろこぶなべをつくってくれるといいます。

ものがたり

E 『 ハタハタ 荒海^{あらうみ}にかがやく命^{いのち} 』

高久至／写真・文 あかね書房

ふゆのうみで、ハタハタのむれが、かいそうのまわりにたくさんのたまごをうみました。ハタハタのたまごは、色^{いろ}とりどりのほうせきのよう。おかあさんがたべるものによって、たまごの色^{いろ}がかわるのです。2月になると、たまごの中^{なか}からちいさなあかちゃんたちがうまれます。

ちしきのほん



わ く わ く

2月号

本 だ な

4 5 6 年



物語



K933 『チョコレートタッチ』

パトリック・スキーン・キャトリング／作 佐藤淑子／訳

伊津野果地／絵 文研出版

ジョンはおかしが大好きで、ごはんを残しておかしばかり食べています。なかでも、チョコレートには目がありません。

ある日ジョンは、ひろったお金でチョコレートを買って食べました。すると次の日、歯みがき粉やオレンジジュース、トランペットまで、口にふれたものがすべてチョコレートにかわってしまったのです。

物語

K933 『エヴィーのひみつと消えた動物たち』

マット・ヘイグ／作 宮坂宏美／訳 ゆうこ／絵 ほるぷ出版

エヴィーには、あるひみつがありました。それは、動物の心の声を聞いて、会話をする力があるということです。

ある日、動物園で人をおそおうとしたライオンを止めるため、人前で力を使ってしまったエヴィーは、ひみつを大勢に知られてしまいました。そんな中、町では動物たちがいっせいに行方不明になるなど、おかしなことがおきはじめます。



ちしきの本



K498 『命を救う 心を救う』 途上国医療に人生をかける小児外科医

「ジャパンハート」吉岡秀人』

ふじもとみさと／文 佼成出版社

医師の吉岡さんは、東南アジアでまずしい子どもたちを無料で治療しています。ミャンマーの村では、電気や水道が整っていないため、手術中でも停電などのトラブルがたえません。そんな場所でも、吉岡さんはあきらめずにむずかしい病気の治療にも挑戦してきました。

吉岡さんの活動や、ミャンマーで出会った子どもたちとのエピソードをしょうかいしています。

図書館のまどぐちには、くみたとると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200